



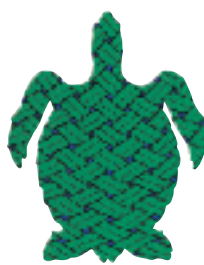
世界民族博物誌

『月刊みんぱく』編集部〔編〕田主誠〔版画〕
四六 上製 336 (カラー8) 頁 本体 2600円



『月刊みんぱく』連載の「民族博物誌」100回分が一冊に!
私たちにも身近なトマト、スイカ、犬、豚から、近年お馴染みになったドリアン、ヘンナ、アルパカ、さらに西アフリカで呪術に使うエツキホコリタケや空想動物ピンサツユーパまで——。世界各地の人びとと動植物との熱い関係を綴った、フィールドの香り満載の楽しい博物誌。連載時と同様に、趣向を凝らした田主誠さんによる版画も全点収録、迫力ある版画集としても楽しめます。

民族学には民族植物学・民族動物学という研究分野がある。自然科学としての植物学・動物学にたいして、民族学の立場から植物や動物と人間のかかわりを追求する学問である。民族学者の目で、それぞれの社会における生物と文化の関係をわかりやすく記述した本書は、民族植物学、民族動物学の入門書として読むこともできる。
——石毛直道（本書「はじめに」より）



ヒマラヤの環境誌—山岳地域の自然とシェルパの世界
山本紀夫・稲村哲也編著 A5 4500円
標高5000mの高地を舞台に、ヒマラヤでのシェルパ族の暮らしを追う。第一線研究者たちが、複雑な高地の自然のメカニズムを綴り、自然環境と民族の英知が見事に調和した「知のドラマ」を描く。

おいしい花—花の野菜・花の葉・花の酒
吉田よし子著 四六 1800円
世界各地で花は野菜として、酒や茶の原料として、薬として伝統的に利用されている。食材としての花を探り、体験を交えて綴る世界の花食文化誌。身近なバラから熱帯アジアの市場に並ぶ花々まで450種。

世界を旅した女性たち—ヴィクトリア朝レディ・トラベラー物語
D. ミドルトン著／佐藤知津子訳 四六 2700円
イザベラ・バード、マリアンヌ・ノースほか、大英帝国全盛期にたった一人で未知の世界へと旅立った女性旅行家たちの七つの物語。目的は様々だが、その姿は今を生きる私たちに勇気づけてくれる。

数の民族誌—世界の数・日本の数
内林政夫著 四六 2600円
諸民族が創って来た数の文化史を、具体的な話題を例にしながら根元まで遡る。優雅な日本語の数詞、百まで異なった表現で数えるインド語、二十進法のフランス語など、世界の数と算えかたの秘密を探る。